

【特定行為研修 修了者のご紹介】



当院では、2020年に特定行為研修を修了した看護師が活躍しています。今回は、その当院第1号特定看護師である4階北病棟の中川義教看護師を紹介します。

【特定行為研修を受講した理由について】

医師が不在の状況で患者さんに創傷や胃瘻、脱水などについての問題が生じた際、自分がすぐに点滴や処置を提供できれば、もっと早期回復に役立つことができるのではないかと感じました。また、自分に足りない知識面や技術面を学べると聞いたので、受講しようと考えました。

【特定行為研修修了後の活動状況について】

私が取得した特定行為は在宅・慢性期領域パッケージと創部ドレーン管理関連の5区分です。現在は一つ一つの手技やアセスメント能力を向上させるために医師や皮膚-排泄ケア認定看護師とともに胃瘻交換と壊死組織の除去を主に実践させてもらっています。

【今後の活動目標について】

手順書や特定行為のシステムの構築を行っていきつつ、受講を考えているスタッフの育成をしたいと考えています。また、脱水症状に対する輸液の補正や気管カニューレの交換、創部ドレーンの抜去も行っていき、経験を積んで安全で安心いただける看護を提供できるようになりたいと考えています。

文責：中川義教